



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Hisashi Shimada 〒659-0093 3-13, Funado-cho, Ashiya, Hyogo, JAPAN
 Mail : freedomism@nifty.com Phone : 0797-38-4936
 URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 「世を照らす光となるう」
 Philip Mathai(インド) "Be the light of the world"
 アジア地域会長 「歳月 Y's をワイズ(賢者)にする」
 Oliver Wu(台湾) "Years bring wisdom"
 西日本区理事 「先頭に立ってワイズの光を輝かそう」
 成瀬 晃三 クラブで、地域で、国際社会で、
 "Let Y'smen Light Shine before Others,
 in the club, in the community, in the world"
 六甲部部长 「柔軟な創造で愚直に積極的な」
 上野 恭男 ワイズライフを楽しもう」
 "With the heart filled with creative evolution.
 Let us enjoy Y's life. Faithfully and constructively!"
 芦屋クラブ会長 「奉仕する共同体」
 島田 恒 'Serving Community with YMCA'

会 長 島田 恒
 直前会長 都筑省三
 副 会 長 羽太英樹・堤 清
 書 記 桑野友子・福原吉孝
 会 計 羽太英樹
 監 事 田舎庸男
 連絡主事 藤田良祐
 六甲部 上野恭男(部長)・加輪上敏彦(事務局長)
 柏原佳子(書記)・桑野友子(会計)

2

Feb. 2013
 第 189 号

今月の聖句

「主を畏れることは知恵の始め。無知なものは知恵をも諭
 をも侮る。」 箴言 1:7

2月第1例会(TOF)プログラム

と き: 2013年2月20日(水) 19:00~21:00
 と ころ: ホテル竹園芦屋 3F
 司 会: 堤 清 (敬称略)
 受 付: 羽太英樹・都筑省三

1. 開会点鐘 島田 恒会長
2. クラブソング斉唱 一同
3. 聖書朗読 羽太英樹
4. 食前感謝 堀江哲次
5. 食事・歓談
6. 13-14年度クラブ役員・委員選出 羽太英樹
次期会長
7. 1) 第2例会議事録の承認 島田 恒会長
2) 事業委員報告・その他 各委員 & メンバー
8. YMCA ニュース 藤田良祐連絡主事
9. ニコニコ献金報告 福原吉孝
10. 誕生祝い 島田 恒会長
堤 和子
11. 閉会点鐘 島田 恒会長

六甲部・環境奉仕・環境事業検討会について

都筑省三

1月25日(金)午後6時半から、神戸YMCAで開催され、山崎泰男主査(宝塚ワイズ)他、六甲部8クラブが参加、六甲部より上野恭男部長、柏原佳子書記、桑野友子会計、西日本区からは地域事業環境事業主任の笠井敏明メンの参加があり、2時間にわたり熱心に話し合いがもたれました。

議題1は8クラブよりの地域奉仕事業の報告。宝塚クラブの市民クリスマス、さんだクラブのパレタインコンサートなど、継続することによって地域に定着してきたと報告がありました。また神戸クラブ、西宮クラブからは東日本大震災支援の継続した取組みが報告されました。

議題2は大震災支援と各種献金の依頼についてでした。特に笠井主査よりロールバックマラリヤ(RBM献金、目標1人800円)運動の説明と献金のお願ひがあり、強い協力依頼がありました。献金は、WHO、ユニセフなどの呼びかけで国際的な連携事業として殺虫剤処理された蚊帳の配布事業に使われ、大きな成果を上げています。今年で3年目になるそうです。また西宮クラブより、3月11日、各クラブで大震災の街頭募金活動について検討をして欲しいという提案がありました。各クラブの報告をお聞きしながら、活動の継続の大切さと、地の塩としてよい働きをしておられると思ひました。

1月例会出席表

| 第1例会出席者 | | 例会出席率 | BF切手 (累計) |
|---------|-----|------------|--------------------|
| メンバー | 14名 | 出席者 14名 | (7.5kg) |
| ビジター | 1名 | メイクアップ 1名 | |
| ゲスト | 3名 | 合 計 15名 | ニコニコ (累計) |
| メネット | 名 | 在籍者 16名 | |
| 合 計 | 18名 | (内広義会員 1名) | 12,135 (108,074 円) |
| | | 出席率 93.8% | |

1月第1例会報告

日時:2013年1月16日(水) 19時~21時

場所:ホテル竹園

司会:藤川晃成

出席者(敬称略):五十嵐、上野、柏原、加輪上、桑野
島田、都筑、堤、羽太、福原、藤川、堀江、
渡辺、藤田、(各メン/ウイメン14名)

ゲスト: 土井健司氏、細谷志朗氏 権 甲植氏

ビジター: 鶴丹谷EMC主査(神戸クラブ)

小野次期EMC主査(西宮クラブ)

定刻に2月の第一例会が島田会長の点鐘と共に始まり、クラブソング斉唱、羽太メンによる聖書朗読、ゲスト・ビジターの紹介がされました。その後、権甲植氏の入会式が島田会長、上野六甲部部長のもとで厳粛に格調高く行われ、身が引き締まる雰囲気の中、権甲植メンが誕生しました。

上野メンの食前感謝祈りの後は和やかに食事と歓談。続いて島田会長から日本ソムリエ協会認定ワインアドバイザー細谷



志朗氏(関学商学部出身)の紹介がされました。

氏は“21世紀のワイン会のホープ、南アフリカ”のタイトルで、世界のワインの歴史(ヨーロッパ人の入植したところはどこでもワインが栽培されたこと)、その栽培、特徴、各国地域のワインの栄枯盛衰の明快な解説と付随するお話しは、流れるような心地よさでした。

そして待望の2種類の南アフリカ産とフランスボルドー地区産のワインの試飲が開始されました。そして、どちらが南アフリカ産ピノタージュか、フランスボルドー産シャトー・ミル・ローズか、どちらの味を好むかのテストが行われました。参加者の評価は15対2で南アフリカワインに軍配が上がりました。

ワインの評価についてはおいしいとか甘いとかでなく、何々の様な色合いや雰囲気を持つなどの具体的なイメージを感じつつ味わう楽しさも指摘された。

中身の濃い実り多く時間で「もっと飲みたい。もっとこの時間が続けばいいな」と参加者全員がワインの話に酔ったひとときでした。ゲスト参加の土井健司氏もとても楽しめましたが、残念なことに4月から関学の神学部長就任で水曜日の夕方は会議の為当分参加困難になりそうとのことでした。

1月12日のYYフォーラムの報告、2月6日の留学生交流会のニュースとニコニコ献金報告(誕生該当者の出席なし)で定刻に閉会となりました。

藤川晃成

入会を許されて

YMCA への私の関わりは、随分昔の時からとなる。初めての出



会いはハイ・ワイからになるので もはや半世紀前からとも言えよう。俗に言われているクリスチャンホームで、特に厳しい信仰生活を求められた家庭教育の中で育った私にとって、YMCAでの仲間達とのキャンプやスキー、夜遅くまでの例会への参加等は、大変楽しい時間でもあった事を今でも思い起こす時がある。当時は自分の信仰生活はYMCAのそれと並行してあったと言えるのかもしれない。

私の所属する在日韓国YMCAは、組織上日本YMCA同盟の傘下にあるものだが、同時に韓国のYMCAとの結びつきも強く、ある時期 在日韓国ワイズメンズクラブの設立を求められ、その準備の為、幾つかのチャーターナイトに参席して設立準備を進めたことがあった。結果としてそれは実現することはなかったのだが、その時が私とワイズメンズクラブとの最初の関わりであったと言える。

しかし、あの阪神大震災の経験は、私の人生を180度変革させる出来事となってしまった。震災の惨事は、自分に「とって今まで培ってきたキリスト教や諸宗教の教義の崩壊をもたらしたのである。その経験はやがて自らを、「改めて聖書を読む」事を求め、それ迄の会社や仕事、活動や肩書きを捨てて牧会者への道を歩ませる原動力になっている。

しかし今想うと、自分は人生を遠回りしながらも、主の計画に従って、その示された路を歩んで来たのではないだろうか。芦屋西教会の信徒たちとの交わり、そしてまた島田会長を通しての芦屋ワイズメンズクラブとの出会い等、全てが私に示された私の歩むべき路の様に思えるのである。今回の芦屋ワイズに入会することが許されて、ここで未熟な自分がメンバーの人達に助けられながら何が出来るのか、主が示される路を探し求めながら、ゆっくり会員の人達の後を歩んで行きたいと想っている。

権 甲植

ワイズの原点を見据えて - 記念講演会への思い

周知のように、YMCA は 1844 年ロンドンにおいて創立された。産業革命下、激動する社会情勢のなかで、主に農村部から出てきた青少年が劣悪な労働条件で雇用され、貧困と不健全な生活に追い込まれている現実を変革すべく、キリスト教の信仰に基づいて活動を開始した。ジョージ・ウィリアムズ達 12 名の青年であり、教派を超えたエキュメニカルな働きであった。間もなく、スイスで YMCA 活動に関わっていたアンリ・デュナンが赤十字社を結成、ノーベル平和賞第一回受賞者となっている。ワイズメンズクラブは、YMCA 活動を支援すべく、1922 年ポール・アレキサンダーによって創立されている。当然、ワイズは YMCA のミッションを共有し、矛盾と課題のなかにある社会や人間に奉仕することが基本となっている。

ここで着目しなければならないことは、YMCA が自らを取り巻く外部環境に目を向け、そのために奉仕し、社会にオープンな組織として活動してきた事実である。われわれは、YMCA と協力し、常に社会や人間の問題に関心をもち、発言と貢献を実践することが求められている。そのようなミッションを共有し、共感する仲間がワイズメンであり、「理想」に向かう相互の協働や交流こそ、ワイズの「楽しさ」の原点に他ならない。



芦屋クラブは 4 月 21 日(日)15 周年記念講演会を開催する。組織内部の祝典を超えて、社会や人間の存在に思いを馳せ、コンサート・講演という形で地域に貢献したいという思いである。会長方針を Serving Community with YMCA としたゆえんである。参加していただきたい方々を、メンバー全員がぜひ熱心にお誘いいただき、参加くださった方々に実りを得ていただきたいと心から願っている。ミッションに基づき、「理想」のささやかな実現になることを目指したい。準備や実施にはなお多くの困難が伴うが、困難な課題に挑戦するなかで相互の交流が生まれ真の「楽しさ」が生まれると私は信じている。

島田 恒

YY(わいわい)フォーラムに参加して

神戸 YMCA で 1 月 12 日(土)に午後 1 時～開催されました。今回は個性のメッセンジャー(伝道師)がやってくるというテーマで六甲部のワイズメンと YMCA リーダーたちとの交流の場が持たれました。参加者総数は約 110 名、芦屋クラブからは島田会長、羽太次期会長、田舎、上野、柏原、桑野、都筑、福原、堀江の 9 名が参加しました。

開会礼拝での小栗献牧師(神戸聖愛教会)の奨励は、迷える 1 匹の羊のお話で、人の居場所とひとりひとりの出会いと絆の

大切を教えられました。



ワイズメンとリーダーたちとのグループディスカッションでは 遊び 仕事 国際 社会問題 教育の 5 つのテーマで話し合うことになりました。私は 社会問題グループに参加し、田舎、都筑メンと一緒にした。主な話題は体罰、就活、原発でした。体罰は監督者(ガバナンス)の問題、YMCA のクラブは勝負より共にスポーツすることの方を大切にしているのでこんなことは起こらないなどの意見や武田 YMCA 会長のご経験(ご主人が関学アメフトコーチ)を伺ったりして大変興味深く思いました。就活は学生リーダーから 2・3 回生から活動を始めねばならず勉強が出来ないと聞き、現状はとてもひどいと思いました。原発は私が話題提供者になっていたため、福島事故対策(止める、冷やす、閉じこめる)から使用済み核燃料(4号炉プール)の処理について思っていることを、特に原発の放射性廃棄物は次の世代に引きつがれざるを得ない状況であることを、また日本がアジアの東端に位置し世界有数の地震発生地帯ということも考えねばならぬこととお話しました。皆様から活発な意見が出され、既存原発の扱いと再稼働、放射能汚染、情報公開、再生可能エネルギー利用、電力供給網など実に幅広いいろんな問題が残っていることを改めて思いました。YMCA 基本原則でもあるすべての生命をかけたがえのないものとして守り育てる精神を常に持つことが大切だと思います。

閉会式では、各ディスカッショングループからの簡単な報告と森恭子さん(Y サ事業主査)からの総評、ワイズメンズクラブ報告(各クラブ会長)とユースボランティアリーダー会の元気なキャンプソングなどがあり、定刻午後 5 時に無事終了しました。



堀江哲次

六甲部だより

| | |
|-----------|---------------|
| 3月2日 | チャリティーボーリング大会 |
| 3月9 - 10日 | 次期会長・主査研修会 |
| 3月11日 | 東日本大震災募金 |
| 3月16日 | 第2回評議会 |
| 4月・5月 | 各クラブ 周年行事 |

1月第2例会議事録(抄)

場所：芦屋市民センター 206号室

日時：1月23日(水) 19:00～21:00

出席者：島田会長・上野・柏原・桑野・都筑・羽太・福原・堀江・藤田連絡主事 (敬称略)

第1例会プログラム

2月第1例会：20日(水) 次期役員選出

3月第1例会：20日(水) 大澤二郎メンのスピーチ

4月第1例会：17日(水) 記念講演会最終打ち合わせ
21日(日) 15周年記念講演会

5月第1例会：15日(水) 賀川記念館参事の西義人氏に都合を聞いた上、決定

6月第1例会：19日(水) 1年の振り返り/次期抱負

11月・12月の会計報告の承認を行った。

クリスマス例会の総括を行った。

- ・23日が教会クリスマス会と重なった。
- ・モレ四重奏管弦楽は非常によかった。
- ・ダンスタイムの音楽がホテル側のBGMで全くダンスが出来ず、楽しみにして来た客をがっかりさせた。
- ・オークションの品物が少ない。メンバーは何かを持ち寄るようにしたい。

・当日の変更等がある場合は臨機応変に対応する。

15周年記念例会実行委員会報告がされた。

但し、ワイズソングの斉唱再度検討する。

2月6日(水)留学生交流会は例年とおりブルーミンモードでポトラック方式でおこなう。

芦屋クラブ会則変更

休会制度は決定。青年会員は継続審議とする。

次期六甲部メネット主査の選任に関しては柏原ウイメンに依頼する。

六甲部 3月行事予定

六甲部チャリティーボーリング大会 3月2日(土)

六甲部第2回評議会 3月16日(土)

桑野友子

YMCAニュース

藤田良祐YMCA連絡主事

新春YYフォーラム、開催

1月12日(土)に、ワイズメンズクラブ六甲部と共催で恒例の「新春YYフォーラム」が開催されました。今年も、ユース委員会とワイズメンズクラブで企画を練っていただき、「個性の伝道師たちがやってくる」というテーマで行われました。ワイズメン、

ボランティアリーダー、会員、職員から約100名強の方々に参加し、職業人として個性ある仕事をされてきたワイズメンや成人の皆さんからのお話を、いくつかのサブテーマごとに分かれて伺い、また話し合う時間をもちました。参加したユースリーダーからも大いに勉強になったと感想が聞かれました。専門学校ホテル学科で、夢の結婚式を実現!

1月24日(木)専門学校ホテル学科の学生がマネージし、オペレーションした本物の結婚式が挙行されました。今年は何らかの事情で挙式ができなかったカップルを公募して12組の申込があり、学生たちが選考した結果、結婚式を挙げられたのは入籍したものの事情があって挙式が叶わなかったお2人でした。当日は、ご家族、ホテル学科講師、スタッフ、在校生に見守られての結婚式、披露宴となりました。ホテル学科2年生も失敗が許されない緊張感の中で、堂々とそれぞれの役割を果たしてしていました。

中日本地区ユースバスケットボール大会、西宮で開催
毎年開催されている同大会が、今年1月26日(土)～27日(日)に、西宮市の兵庫県立総合体育館において、京都から神戸までの各YMCAから約250名が集り、日頃の練習の成果を競いました。バスケットボールは1891年にアメリカYMCAでジェームズ・ネイスミスによって考案され、YMCAによって普及しました。日本へは1900年過ぎに、東京YMCAの大森兵蔵氏が、あるいは神戸YMCAの宮田守衛氏が最初に持ち帰ったなどと諸説ありますが、いずれも定かではありません。ただ、バスケットボールはYMCAによって紹介され、普及の端緒を担ったことは間違いのないようです

今後の予定

ユースリーダーと会員の集い「Yカフェ」

会員活動委員会が主催して、ユースリーダー、ユースリーダー-OBOG、会員の皆さんと気楽な雰囲気の中で語り合える場を用意していただきました。

日時：2月23日(土)午後2:00～4:00

場所：神戸YMCA 4F サイコー亭

内容：講演「私とYMCA活動(安行英文さん)」
とカフェタイム

イースター早天礼拝

神戸YWCAと合同で開催される恒例のイースター礼拝です。

日時：3月31日(日)午前7:00～8:00

場所：神戸東遊園地

編集後記

1月YYフォーラム 2月は留学生交流会と若い人達と楽しく話し合う時間を持ちました。ワイズメンとの交流から何か次の成長につながるものを若人達が得てもらえればと思います。また留学生の皆様は少しでも日本をより良く理解し、日本の良き友となることを願っています。 堀江哲次